



たくさんの人からの寄せ書き

祝・平昌パラリンピック出場

阿部友里香選手の壮行会を開催



山田町第一保育所の園児からはメダルと花束が



激励に駆けつけた人と笑顔で話す阿部選手

がんばれ！阿部選手



オリンピック出場経験者

湊 義雄さん(山田・69)

「誰かのため」と考えずに、「自分のため」にレースに臨んでほしい。自分のためにがんばれば、自然と人に何かを伝える結果がついてきます。



中学校時代の恩師

三上 えり子さん(宮古市・63)

中学生の時に友里香さんから新しい夢が見つかったと話されたのを覚えています。その夢を実現したのはすごいこと。自分に誇りを持って戦ってきてください。



同級生

福士 泰佳さん(大沢・22)

友里香さんのパラリンピック出場は、まるで自分のことのようにうれしい出来事。練習でやってきたことを発揮して、自分で納得できる結果を残すことを願っています。

1月22日、平昌パラリンピックに、本町出身の阿部友里香選手が、距離・バイアスロンで出場することが決定しました。これに先行して、町では20日に町中央公民館小ホールで阿部友里香選手壮行会を開催。会には、鈴木俊一五輪相や岩手県文化スポーツ部長・上田幹也さんなど約220人が参加。阿部選手の健闘を祈り、エールを送りました。佐藤信逸町長は「平昌への出場が決まれば、ソチに続き2回目の出場となる快挙。がんば

ばってほしい」と激励。鈴木五輪相は「冬季のみならず、2020年東京パラリンピック出場も目指してほしい。阿部選手にはその力がある」と期待を込めました。その後は、山田町第一保育所の園児らによる虎舞披露や、出席者からの花束贈呈などが行われ、阿部選手は「出場するだけではなく、メダルを持ち帰りたい。ベストなパフォーマンスを皆さんに見てもらえるようにがんばります」と意気込み、感謝を伝えていました。



意気込みを話す阿部選手